

第42回松本市長杯争奪球技大会 開催要項

- 1 主催
松本市、一般財団法人松本市スポーツ協会
- 2 主管
第42回松本市長杯争奪球技大会実行委員会
- 3 期日
令和7年11月2日（日）
- 4 開会式
 - (1) 各競技会場で、開会式を行う。
 - (2) 選手は、各競技会場に直接集合
- 5 競技種目
 - (1) 軟式野球
 - ア 会場
 - ・ セキスイハイム松本スタジアム（松本市野球場）
 - ・ 信州グリーンローズスタジアム四賀（四賀球場）
 - イ 日程
 - ・ メンバー表提出
各試合の開始30分前まで
 - ・ 試合開始
 - セキスイハイム松本スタジアム 午前8時30分
 - 信州グリーンローズスタジアム四賀 午前9時00分
 - (2) ママさんバレーボール
 - ア 会場
エア・ウォーターアリーナ松本メインアリーナA面・B面
 - イ 日程
 - ・ 入場 午前8時15分
 - ・ 受付 午前8時30分
 - ・ 代表者会議 受付終了次第
 - ・ 試合開始 午前9時00分（予定）
 - (3) 卓球
 - ア 会場
エア・ウォーターアリーナ松本サブアリーナ

イ 日程

- ・ 受付 午前8時15分～
- ・ 練習 午前8時45分～9時15分
- ・ 試合開始 午前9時30分

(4) ゲートボール

ア 会場

かりがねサッカー場

イ 日程

- ・ 受付 午前8時00分～
- ・ 開会式 午前8時15分
- ・ 試合開始 午前8時45分

(5) マレットゴルフ

ア 会場

信州スカイパークみどりの交流ゾーン マレットゴルフコース

イ 日程

- ・ 受付 午前8時00分～30分
- ・ 開会式 受付終了後
- ・ 試合開始 開会式終了後
- ・ 閉会式 午前11時30分（予定）

(6) ソフトバレーボール

ア 会場

エア・ウォーターアリーナ松本メインアリーナC面

イ 日程

- ・ 入場 午前8時15分
- ・ 受付 午前8時15分～40分
- ・ 代表者会議 午前8時40分～
- ・ 試合開始 午前9時15分

6 競技規程

別添のとおり

7 閉会式・表彰

(1) 閉会式

種目ごとの会場で行う。

(2) 表彰

- ア 優勝 優勝杯（持ち回り）、賞状
- イ 準優勝 トロフィ、賞状
- ウ 第3位 トロフィ、賞状

※ 軟式野球・卓球・ソフトバレーボールは2チーム

8 申込

(1) 参加資格

- ア 松本市民であって、当該地区に居住する者（詳細は競技規程を参照）
- イ 学生・生徒（定時制を含む。）は、除く。

(2) 申込方法

- ア 専用の申込書（別添）で、松本市スポーツ協会事務局に申し込む。
- イ 申込締切日は、令和7年10月17日（金）17時15分

(3) 参加料・保険料

無料

9 主将会議

(1) 期日 令和7年10月22日（水）19時～

(2) 会場 エア・ウォーターアリーナ松本（松本市総合体育館）大会議室

(3) 備考 ア 参加地区から代表者1名の出席をお願いします。

イ 別途、参加地区に通知します。

10 大会の変更・中止

(1) 天候による中止

- ア 雨天の場合、軟式野球は中止
- イ 雨天の場合、ゲートボール・マレットゴルフは、中止することがある。
- ウ 雷注意報が発令された場合、軟式野球・ゲートボール・マレットゴルフは、中止することがある。
- エ 天候による開催・中止の決定は、大会当日の午前6時に行う。

(2) 選挙による変更・中止

大会会場が、大会日に国政・地方選挙の会場となった場合、大会内容を変更又は中止することがある。

(3) 主催者判断による変更・中止

その他、主催者の判断で変更・中止とする場合がある。

(4) 変更・中止の確認方法

- ア 松本市スポーツ協会ホームページ又は電話で確認
- イ 電話は混雑回避のため、各地区代表者が問い合わせること。
- ウ ホームページ・電話などの連絡先は、下記「大会本部」参照

11 個人情報の取扱

- (1) 一般財団法人松本市スポーツ協会は、個人情報の保護に関する法律及び松本市個人情報保護条例並びに一般財団法人松本市スポーツ協会個人情報

管理規程に基づき、取得した個人情報に大会運営に利用する。

- (2) 参加者の氏名・所属・写真・映像及び大会結果等は、プログラム・各種報道機関・当協会HP等に掲載される場合がある。

12 競技中の怪我等の対応

- (1) 競技中に怪我等が発生した場合は、速やかに各会場の競技役員又は大会本部に連絡し、看護師等から応急処置を受けること。また、以降の対応は各チームで行うこと。
- (2) 本大会中に発生した怪我等の補償については、主催者が加入した傷害保険の範囲で適用される。保険内容の詳細については、松本市スポーツ協会ホームページを確認すること。

13 大会本部

一般財団法人松本市スポーツ協会事務局

〒390-0801 長野県松本市美須々5-1

エア・ウォーターアリーナ松本内

TEL 32-7056

FAX 32-7452

メール matsutaikyo@po.mcci.or.jp

H P <https://matsumoto-sports.or.jp/>

第42回松本市長杯争奪球技大会 競 技 規 程

共通事項

1 大会形式

市内35地区及び市内9ブロックによる対抗競技

2 出場資格

- (1) 松本市民であって、当該地区に居住するもの。ただし、学生・生徒（定時制を含む。）は、除く。
- (2) 年齢制限競技に適用する満年齢の基準日は、令和7年4月2日とする。
- (3) 未登録の選手が出場する場合は、次の時点に競技別競技本部で住所・生年月日を確認できる運転免許証等を提示のうえ、選手変更の手続をすること。以後の選手変更は認めない。
 - ア 軟式野球 : 第1回戦（各チームの初戦）開始までに行う。
 - イ ママさんバレーボール : 試合開始までに行う。
 - ウ 卓球 : 予選リーグ開始までに行う。
 - エ ゲートボール : 第1試合開始までに行う。
 - オ マレットゴルフ : 競技開始までに行う。
 - カ ソフトバレーボール : 試合開始までに行う。

3 失格

- (1) 試合開始時間に遅れたチーム
- (2) 変更手続をせずに登録選手以外の者が出場したチーム
- (3) 有資格者でチーム編成できなかったチーム

4 無資格者の扱い

- (1) 第1回戦の試合開始前に無資格者を発見した場合は、その選手を除いて試合を行う。ただし、マレットゴルフは一斉スタートのため、競技開始前に発見した場合は、選手変更をしてスタートするが、交代者がいない場合は、そのチームを失格とする。
- (2) 試合中に無資格者を発見した場合は、その試合を没収し、相手チームを勝ちとする。ただし、無資格者であるかないかの判定が困難な場合は、その試合を続けて行う。
- (3) マレットゴルフ競技は、競技中に無資格者を発見した場合、そのチームを失格とし、次点のチームを繰り上げる。
- (4) 無資格者を含むチームが勝者となっても、次の試合開始前に無資格者を発見した場合は、前の試合を無効とし、再試合は行わず、相手チームを勝者とする。

- (5) すべての競技が終了し、順位が確定した後に無資格者を発見した場合、そのチームの入賞は認めない。この場合、次点のチームを繰り上げる。

5 注意事項

- (1) 競技場内の飲食・喫煙は、競技場のルールに従う。
- (2) 屋内会場では、上履・下履の区別をする。
- (3) 主催者の許可なく動画撮影することはご遠慮ください。また、YouTubeなどの動画共有サービスへの無断アップロードは、お断りします。

軟式野球

1 チーム構成

- (1) 各ブロックの代表地区によるチーム
- (2) ただし、地区単位で必要人員を集めることが困難な場合は、特例としてブロック内の他地区から4名まで補充することができる。
- (3) 1ブロック1チーム以内、全9チーム以内
- (4) 監督含め選手9名以上18名以内（監督と選手の兼任・ベンチ入り可）
- (5) マネジャー・コーチ・スコアラーは、別にベンチに入ることができる。

2 試合形式

- (1) トーナメント戦とする。
- (2) 3位決定戦は行わない。
- (3) 全試合7回戦とする。
- (4) 1試合の試合時間が1時間20分を経過した場合、新しいイニングに入らない。その時点で同点の場合は、ジャンケンによって勝敗を決定する。
- (5) 点差のコールドゲームは、5回以降7点差とする。

3 競技規則

現行の公認野球規則に準じる。

4 メンバー表

定められた試合開始時間の30分前に4部を本部へ提出する。

5 審判

- (1) 第1試合の塁審・ボール担当は、第2試合の若番チームから2名、老番チームから2名出す。ただし、該当ブロックの第2試合がシード戦の場合は、第2試合のチームから4名出す。
- (2) 第2試合の塁審・ボール担当は、第1試合の勝者から4名出す。ただし、該当ブロックの第2試合がシード戦の場合は、第1試合の敗者から4名出す。
- (3) 塁審・ボール担当を出さないチームは、原則として棄権扱いとする。
- (4) 球審及び決勝の審判は、主管団体が行う。

6 注意事項

- (1) ベンチは、若い番号が一塁側とする。
- (2) 金属バット・捕手マスクは、J S B Bマーク入りの公認用具を用いる。
- (3) 金属スパイクシューズの使用は認めない。
- (4) バッターとランナーは、ヘルメットを着用する。
- (5) キャッチャーは、ヘルメット・プロテクター・レガース・ファウルカップを必ず着用する。

1 チーム構成

- (1) 各ブロック内の代表地区で、家庭婦人（30歳以上の未婚女性も含む。）により構成したチームとする。
- (2) ただし、地区単位で必要人員を集めることが困難な場合は、特例としてブロック内でのチーム構成を認める。
- (3) 1ブロック1チームとするが、前回大会で優勝したブロックからは、2チーム出場できる。全10チーム以内
- (4) 監督1名、副監督1名、マネジャー1名、選手12名（計15名以内）とする。
- (5) 監督、副監督、マネジャーと選手の兼任及びベンチ入り可

2 試合形式

- (1) トーナメント戦とする。
- (2) 3位決定戦を行う。

3 競技規則

北信越ママさんバレーボール連盟競技規則 2025

4 審判

- (1) 主審・副審・記録は、主管団体が担当する。
- (2) 線審・点示は、参加チームが担当する。
- (3) 審判の割当は、別途申込責任者に通知する。

5 注意事項

- (1) 代表者会議は、開会式終了後、バレーボールの競技本部で行う。
- (2) 試合球は、ミカサのカラーボール4号を使用する。
- (3) ユニフォームは、各チームで準備すること。
 - ア 出場ブロック又は地区名が明記され、統一されたものが望ましい。
 - イ 主将マーク（縦2cm×横8cm）を必ず付けること。

卓 球

1 チーム構成

- (1) 各地区の住民で構成したチーム
- (2) 1地区1チーム以内、全35チーム以内
- (3) 硬式・ラージボール混合とする。
- (4) 監督含め、選手8名以上15名以内（監督と選手の兼任可）
- (5) 選手は、1試合に1種目のみ出場することができる。

2 試合形式

- (1) 予選はリーグ戦、決勝はトーナメント戦とする。
- (2) 3位決定戦は行わない。
- (3) 出場順は、次のとおり。

1番	硬式ボール	30歳以上	女子	シングルス（11本5ゲームスマッチ）
2番	ラージボール	一般	男子	ダブルス（11本3ゲームスマッチ）
3番	硬式ボール	40歳以上	男子	シングルス（11本5ゲームスマッチ）
4番	ラージボール	一般	女子	ダブルス（11本3ゲームスマッチ）
5番	硬式ボール	一般	女子	シングルス（11本5ゲームスマッチ）
6番	ラージボール	一般男女	混合	ダブルス（11本3ゲームスマッチ）
7番	硬式ボール	一般	男子	シングルス（11本5ゲームスマッチ）

3 競技規則

- (1) 現行の日本卓球ルール及びラージボール卓球ルール（競技大会ルール）に準じる。ただし、タイムアウト制は採用しない。
- (2) 予選リーグは、7番まで試合を行い、勝率計算も、7番まで行う。
- (3) 2チームの勝率が同じ場合、両チーム同士の対戦の勝者を上位とする。
- (4) 3チームの勝率が同じ場合、以下のとおり順位を決定する。
 - ア その3チーム同士の試合数の勝率で決定
 - イ 試合数の勝率が同じ場合、ゲーム数の勝率で決定
 - ウ ゲーム数の勝率が同じ場合、ポイント数の合計で決定
 - エ ポイント数の合計が同じ場合、各チーム代表者のジャンケンで決定
 - オ 試合数・ゲーム数・ポイント数は、いずれも硬式とラージの合計
- (5) 決勝トーナメントは、4点先取とし、4点先取した時点において終了していない試合は、行わない。
- (6) 1～7番のいずれか1試合を棄権しても、試合は成立する。ただし、双方が同一試合を棄権し、3勝3敗になった場合、(4)の通り順位決定する。
- (7) 2試合以上棄権した場合、試合を行うことはできるが、不戦敗とする。
- (8) 試合を棄権して行う場合、オーダー交換前に対戦する地区の監督及び本部に通告しなければならない。

- (9) 1試合を棄権した場合、硬式ボールは0－3（0-11、0-11、0-11）とし、ラージボールは0－2（0-11、0-11）とする。

4 審判

- (1) 予選リーグ及びトーナメントは、対戦者同士の相互審判とする。
(2) 決勝戦は、主管団体が審判を行う。

5 注意事項

- (1) 選手は、ルールに定められたゼッケン（縦18cm×横25cmの布の上段2/3に選手名、下段1/3に所属地区を記入したもの）を、ユニフォームの背後に付けること。
(2) 予選リーグから、硬式ボール台とラージボール台の複数台を同時使用する。
(3) ボールは、（公財）日本卓球協会公認球ニッタクとする。

ゲートボール

1 チーム構成

- (1) 各地区の住民により構成したチーム
- (2) ただし、地区単位で必要人員を集めることが困難な場合は、特例として松本市内の他地区から2名まで補充することができる
- (3) 1地区1チーム以内、全35チーム以内。男女混合チームとする。
- (4) チームは、競技者5名以上8名以内で構成し、うち1名を主将とする。
- (5) 監督1名を置くことができる。ただし、監督は競技者としては出場できない。

2 競技形式

- (1) 予選リーグ戦、決勝トーナメント戦、3位決定戦を行う。
- (2) 競技は、男女混合で行う。

3 競技規則

- (1) 現行の日本ゲートボール連合の定める公式競技規則に準じる。
- (2) 先攻・後攻は、以下のとおり決定。
 - ア 予選は、競技時間及び審判割当表の左側が先攻、右側が後攻
 - イ ただし、予選第5～6試合以降は、トス又はジャンケンにより決定
 - ウ 決勝トーナメント戦は、トス又はジャンケンにより決定

4 審判

- (1) 相互審判制とする。
- (2) 決勝トーナメント戦以降は、専任審判制を原則とする。

5 注意事項

- (1) ゲートボール用スティックを使用し、ゼッケンは各チームで用意する。

1 参加チーム数と構成

- (1) 各地区1チームまでとする。
- (2) チームは、男女混合とし、1チーム男子2名女子2名とする（うち主将1名）。

2 競技方法

- (1) 使用コースは、信州スカイパークみどりの交流ゾーンマレットゴルフコース（芝）。36ホールパー144ストロークプレイとする。
- (2) 選手は、同チームの選手と同グループでスタートしない。

3 組合せ抽選

グループ組合せ、グループリーダー及びスタートホールについては、主催者が決定する。組合せ表は、当日配布する。

4 順位

- (1) チーム全員の打数を合計した点数により順位を決定する。
- (2) 同点の場合は、チーム年齢の合計が多いチームを上位とする。
- (3) 年齢も同数の場合は、同順位とする。
- (4) ただし、以下の場合については、記載のと通りの対応とする。

ア 同点1位の場合、チーム年齢の合計によらず、プレーオフにより優勝決定戦を行う。

イ 2位および3位において、同点・同年齢が生じた場合は、ジャンケンで順位を決定する。

5 失格事項

前グループを追いこしてプレーしたグループと、プレーするコースを間違えたグループのメンバーは、全員失格とする。

6 受付

- (1) 受付時間は、8：00～8：30まで（時間厳守）
- (2) 各チームの主将は、参加者の人数確認をし、代表して受付をする。
- (3) 主将は、受付で組合せ表・スコアカード・スコア提出カードを受け取り、各チームの選手へ配布する。

7 開始式

8：30予定、会場は、みどりの交流ゾーンふれあいひろば

- (1) 組番号札前に、組合せ表に記載のとおり並ぶこと。整列時は、1m以上間隔を空ける。

- (2) 閉会の辞が終わるまで列を乱さず、私語を慎むこと。

8 競技進行

- (1) 開始式終了後、10分前後を確認のうえスタートすること。
- (2) ローテーション時の注意事項は、以下のとおり。
 - ア らいちょう・かもしかコース18番終了時は、別コースの1番へ移動すること。
 - イ らいちょうコース18番 → かもしかコース1番
 - ウ かもしかコース18番 → らいちょうコース1番
- (3) グループリーダーは、組合せ表の一番左側に氏名が記載された選手
- (4) 競技中のトラブルは、グループリーダーを中心に、その場で解決処理すること。
- (5) 全員打ち終わるまで、絶対に前へ出ないこと。
- (6) 2打目より、必ず打数を呼称すること。
- (7) ホールアウトしたら、速やかにコースの外に出て、後続の選手に合図し、全員でスコアを確認して、各自記録すること。
- (8) 判定員の指示に従うこと。
- (9) 競技が終了したら、全員がスコアの確認をし、各グループリーダーが提出カードを提出すること。
- (10) 全員がホールアウトするまで、閉会式会場の近くで休憩すること。
- (11) 成績集計は、約30分の予定

9 閉会式

11：30予定、会場は、開始式と同じ。

- (1) 整列は、地区別に、最低1m以上の間隔を保って並ぶ。
- (2) 表彰は、優勝・準優勝・第3位まで行う。ただし、発表は10位まで行う。
- (3) 閉会の辞が終わるまで、列を乱さず、私語は慎むこと。

10 松本市長杯争奪球技大会マレットゴルフ競技規則

当規則には、信州スカイパークみどりの交流ゾーンマレットゴルフコースのローカルルールを含む。

【競技規則】

- 1 原則ノータッチプレイですが、ボールに砂・落葉などがついた時は、同伴者の了解を得て、マークをして、ボールを拭く。ボールがグリーン上にある時は、お先かマークする。
- 2 かもしか③番、らいちょう④番にマンホールがあるが、ボールが接触又は上で止まった時は、ワンヘッド右か左に出して、無罰で打つ。

- 3 らいちょう⑤番、⑬番、⑱番は、第一打のボールの静止位置が分からないため、交替で見る。
- 4 もしか⑪番は、前の組が右側に移動した後ボールが入っても、打ち込みにはならない。
- 5 OBは、白杭と白杭の線上から出た時、OBゾーンの溝に入った時、黒杭に当たった時、植栽に入った時、ネットにタッチした時、すべてOB。もしか⑦番、⑧番、⑨番は、ネットの前に板が張ってあるが、板に当たればOB。 - 1打罰で打ち直し
- 6 紐線がある時は、直角に出して打てる。 - 無罰
- 7 打順は、競技開始スタートホールは、グループリーダーより順次メンバー順に打ち、2打目からは、前のホールで打数の少ない方より打つ。
- 8 ボールは、70－75φのものを使用する。予備球同型（色違いが望ましい）を必ず持参すること。また、スティックは特に指定しないが、マレットゴルフ用のものを使用すること。
- 9 その他の規則は、通常のマレットゴルフ競技のルールに基づき行う。

【マナー】

- 1 決められた時間には集合し、出場者は時間までに受付をすること。
- 2 参加者は、開・閉会式では、私語を慎み、厳粛な態度で臨むこと。
- 3 プレーヤーがアドレスした時は、競技者と応援者は、静粛にすること。
- 4 同伴競技者が打ち終わるまでは、前方に出ないこと。
- 5 打った後の足跡、ショットの穴は、必ず整地しておくこと。
- 6 競技中は、同伴者に不快感を与えるような言動は慎むこと。
- 7 競技中は、禁煙とする。

ソフトバレーボール

1 チーム構成

- (1) 市民スポーツ大会地区対抗競技ソフトバレーボールの部で、決勝トーナメントに進出した地区（全 16 チーム以内。2 チーム入賞した地区は 2 チーム出場可）
- (2) 監督 1 名、男女各 4 名以内
- (3) 選手は、監督と兼任可だが、選手は、8 名以内とする（ベンチ入り可）。

(4) 種目は、フリーの部と T 1 8 0 の部とし、市民スポーツ大会地区対抗競技で出場権を得たクラスに出場する。ただし、T 1 8 0 の部は 4 0 歳以上の選手で構成し、コート内の選手年齢合計は 1 8 0 歳以上であること。

2025. 8. 8 更新

(5) なお、出場権を得た地区が、他地区から人員を補充していた場合、継続して当該の他地区人員の出場を認める。

- (6) コート内では、常に男子 2 名と女子 2 名がプレーしていること。

2 競技形式

参加チーム数に応じて、組み合わせを行う。

3 競技規則

現行の（公財）日本バレーボール協会制定ソフトバレーボール競技規則に基づいて行う。

4 競技上の注意事項

- (1) ユニフォーム等の服装は、原則として定めないが、チームごとに統一することが望ましい。
- (2) 背番号、胸番号は、各チームで準備し、必ず付けること（地区名を記入したもの）。
- (3) 監督及びキャプテン（主将）は、監督及びキャプテンであることが分かるものをユニフォームに付けること。腕章をもってキャプテンマークに代えることができる。
- (4) エントリー変更の有無にかかわらず、構成メンバー表を提出する。
- (5) 決勝トーナメントの 3 位決定戦は行わず、第 3 位は、2 チームとする。

5 審判

- (1) 予選リーグ、決勝トーナメントとも、全試合相互審判制とする。
- (2) 審判・補助員は、審判担当チーム 5 名により行う。
- (3) 組み合わせ抽選は、主将会議で行う。
- (4) 審判を担当する順序は、組み合わせ決定後、別途通知する。